

第6学年社会科学学習指導案

1. 小単元名 「世界への扉を開いた新しい国づくり」

こんな子どもたちに

- 大久保利通と福沢諭吉に関心をもち、明治時代の諸政策を中心に意欲的に調べ、新しい国づくりについて追究していくことができる。
(関心・意欲・態度)
- 大久保利通と福沢諭吉を通して、どんな国づくりを目指していたのかについて考えることができる。
(思考・判断)
- 大久保利通と福沢諭吉を中心として、自分の課題に沿って調べたことについて資料を用いてまとめ、分かりやすく表現することができる。
(技能・表現)

こんな単元のとらえ方で

《子どもの実態》本学年の子どもたちに、「6年生での歴史学習は好きですか？」というアンケートを行ったところ、「好き・どちらかといえば好き」と答えた子どもが91%、「どちらかといえば嫌い・嫌い」と答えた子どもが9%であった。5年生までの学習とは異なり、人物に深く触れ、過去の時代の出来事に興味を覚え、歴史を学ぶ楽しさを感じている。子どもたち自身が、歴史学習に対して興味関心が高いため、意欲的に考えたり、進んで調べたりする姿が多い。しかし、人物に寄り添いながらも、人物と政策や人物と時代とのつながりを断片的に捉えることにとどまっているのが現状である。

《教材の価値》本小単元では、明治の新しい国づくりを目指したことを理解することをねらいとしている。そこで、政治や社会の改革を行った人物の中で、大久保利通と福沢諭吉を中心に取り上げる。大久保利通は、官の立場から軍事面や経済面を通して、欧米諸国に負けない日本を目指したことが捉えられる。また、福沢諭吉は民の立場から教育を通して「日本を育てる人」を育てることにより、欧米諸国に負けない日本を目指したことが捉えられる。二人の人物を通して学習を進めることは、明治の国づくりが政府だけで行われたのではなく、官と民が一体となって進められたこと、近代的な政治や仕組みが整ったことに加えて、文明開化も理解できる。また、二人の人物を通して、近代化のよさを考えていけば、現在とのつながりも学ぶことができるという点からも大変意義深いと考える。

こんな活動で

《であう過程》

開国・倒幕といった当時の日本の様子を理解した後、日本がどんな世の中になっているかを考えるために、この時代を支えた大久保利通・福沢諭吉の二人の人物を取り上げる。二人の人物像に加え、江戸時代と明治時代の様子を比べて、世の中が大きく変化したことをつかみ、この時代を支えた二人に対して、「なぜ、こんなに日本を変えたのですか。」「変えなければならぬ理由があったのですか。」といった質問や疑問をもとに、学習問題につなぐ。予想づくりでは、前時までの学習をもとに、外国に負けない日本にしようとした共通の思いをおさえ、年譜や新たな資料をもとに、根拠のある予想を立て、調べることを明確にしておく。

《さぐる過程》

視点に沿って調べたことをノートにまとめていく活動である。思考を整理するために、必要な資料を収集し、ノートにまとめていく。また、同じ視点で情報を共有する場をもったり、違う視点について考えさせたりすることで、自分の考えを深めるようにする。この活動を通して考えに付加修正し、学習問題の答えを導き出す。

《ふりかえる過程》

これまで調べてきたことをもとに、学習問題についての考えを交流する。学習問題の答えをつくりあげる前に、国づくりにかけた信念に気付かせ、学習問題の答えをつくり出すために、二人の死後が分かる大久保利通の遺産額や福沢諭吉の後輩の活躍などの資料を提示する。さらに、欧米の文化を取り入れながら近代化を進めたよさについて考えるために、「近代化を進めたこと」のはか非かについて交流する場をもつ。あわせて、人々の生活の変化に目を向けることができるように、具体物を提示し、この当時の日本が、世界への扉を開いたという事実から、近代化を進めたよさについて考え、現代につなげて考えることができるように考える。

2. 指導計画（全9時間）

進	主な学習活動と内容	時	自ら学びを進める子ども像	支 援			
であう	<p>1. 開国から倒幕までの様子を知る。</p> <p>(1) 黒船の来航から江戸時代の末期の様子をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開国の様子 ・不平等条約締結 <p>(2) 武士の不満が高まり、倒幕するまでの様子をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武士の終わり ・新政府の始まり <p>2. 「大久保利通」と「福沢諭吉」について知り、学習問題をつくり、予想を立てる。</p> <p>(1) 二人の年譜と江戸・明治時代の変化から、二人への質問を考え、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋風になったのは、なぜですか？ ・なぜ、こんなに日本を変えたのですか？ ・変えなければならぬ理由があったのですか？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題</p> <p>大久保利通と福沢諭吉は、なぜ、日本を変えたのだろう。</p> </div> <p>(2) 資料から、二人がどのような日本にしたかったのかについて予想を立て、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国と対等に向き合える国にしたい。 ・外国に負けない国にしたい。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>A強い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弱いと外国に攻められる。 ・不平等条約の締結 <p>→大久保は、武器や軍隊を揃えて、強い国を目指した。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>B裕福な日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の不作や飢饉により苦しい生活。 ・四民平等 ・国からの給料廃止 <p>→大久保は、強い国を実現するため殖産興業を推進した。</p> <p>→福沢は、勉強すれば、豊かになると説いた。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>C賢い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時、寺子屋はあったが、ほとんどの人が勉強することができなかった。 <p>→福沢は、学校を開いたり、本を書いたり、勉強するよう呼びかけた。</p> </td> </tr> </table>	<p>A強い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弱いと外国に攻められる。 ・不平等条約の締結 <p>→大久保は、武器や軍隊を揃えて、強い国を目指した。</p>	<p>B裕福な日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の不作や飢饉により苦しい生活。 ・四民平等 ・国からの給料廃止 <p>→大久保は、強い国を実現するため殖産興業を推進した。</p> <p>→福沢は、勉強すれば、豊かになると説いた。</p>	<p>C賢い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時、寺子屋はあったが、ほとんどの人が勉強することができなかった。 <p>→福沢は、学校を開いたり、本を書いたり、勉強するよう呼びかけた。</p>	<p>2</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>2</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>①</p>	<p>○黒船が来航した当時の様子を理解することができる。</p> <p>○倒幕までの様子を理解することができる。</p> <p>○時代の変化と二人の業績の資料をもとに、学習問題につながる考えをもつことができる。</p> <p>○前時の年譜から、二人がどのような日本にしたかったのか考え、根拠を明確にした予想を立てることができる。</p>	<p>○世界の中での日本の立場をつかませるため、黒船来航の様子や条約の内容を提示する。その際、不平等条約を結ばざるを得なかったことを、話し合いの場で考えさせる。</p> <p>○二人の業績に目を向ける資料・時代の変化をつかむように江戸と明治の絵を比較する資料を提示する。</p> <p>○大久保利通・福沢諭吉に尋ねたいことを考えることで、学習問題につなげる。</p> <p>○学習問題で提示した資料に加え、視点をもつことができるような資料を提示する。</p> <p>○学習問題とつながらない児童には、板書を振り返るよう指導する。</p>
<p>A強い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弱いと外国に攻められる。 ・不平等条約の締結 <p>→大久保は、武器や軍隊を揃えて、強い国を目指した。</p>	<p>B裕福な日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の不作や飢饉により苦しい生活。 ・四民平等 ・国からの給料廃止 <p>→大久保は、強い国を実現するため殖産興業を推進した。</p> <p>→福沢は、勉強すれば、豊かになると説いた。</p>	<p>C賢い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時、寺子屋はあったが、ほとんどの人が勉強することができなかった。 <p>→福沢は、学校を開いたり、本を書いたり、勉強するよう呼びかけた。</p>					
さがる	<p>3. 自分の課題に沿って調べ、まとめる。</p> <p>(1) 強い日本・裕福な日本・賢い日本の3つの視点の調べることに沿って、学習問題の答えをつくる。</p> <p>A強い日本→富国強兵・徴兵制度について</p> <p>B裕福な日本→地租改正・殖産興業について</p> <p>C賢い日本→学制・慶応義塾・文化について</p>	<p>4</p> <p>②</p>	<p>○二人の業績を中心に、自分の視点に沿って調べ学習をすることができる。</p>	<p>○十分な調べ学習ができるように、それぞれの視点にあった資料を準備する。</p>			

ふりかえる	<p>(2) 同じ視点同士で交流を行い、情報を共有する。</p> <p>(3) 学習問題の答えをノートにまとめる。</p>	<p>① ○同じ視点ごとに情報を共有し、新しい資料を加え、自分の考えを深めることができる。</p> <p>① ○なぜ、日本を変えたのかについて、学習問題の答えについての考えをノートにまとめることができる。</p>	<p>○考えが深まるように、交流に関わる。</p> <p>○発表に必要な資料を提示できるように準備しておく。</p>		
	<p>4. 考えを交流し、学習問題の答えについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点ごとの発表 ・全体交流 ・「近代化」を進めたこと <table border="1" data-bbox="204 772 817 1191"> <tr> <td data-bbox="204 772 399 1191"> <p>A強い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富国強兵 ・徴兵制度 ・地租改正 ・廃藩置県 <p>→外国に負けない強い軍隊にした。</p> <p>→後の戦争にも勝った。</p> </td> <td data-bbox="399 772 598 1191"> <p>B裕福な日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地租改正 ・殖産興業 ・四民平等 ・身分制度 <p>→きまりを確定した。</p> <p>→生活様式を取り入れた。</p> </td> <td data-bbox="598 772 817 1191"> <p>C賢い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学制 ・学問のススメ ・学校設立 <p>→教育の必要性を説いた。</p> <p>→男女平等の考えを説いた。</p> </td> </tr> </table>	<p>A強い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富国強兵 ・徴兵制度 ・地租改正 ・廃藩置県 <p>→外国に負けない強い軍隊にした。</p> <p>→後の戦争にも勝った。</p>	<p>B裕福な日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地租改正 ・殖産興業 ・四民平等 ・身分制度 <p>→きまりを確定した。</p> <p>→生活様式を取り入れた。</p>	<p>C賢い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学制 ・学問のススメ ・学校設立 <p>→教育の必要性を説いた。</p> <p>→男女平等の考えを説いた。</p>	<p>1 本時組</p> <p>○調べたことをもとに、学習問題の答えについて、どの視点になり得るかを考えながら話し合うことができる。</p> <p>○これまでの学習を理解し、近代化を進めたこの時代について考えることができる。</p>
<p>A強い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富国強兵 ・徴兵制度 ・地租改正 ・廃藩置県 <p>→外国に負けない強い軍隊にした。</p> <p>→後の戦争にも勝った。</p>	<p>B裕福な日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地租改正 ・殖産興業 ・四民平等 ・身分制度 <p>→きまりを確定した。</p> <p>→生活様式を取り入れた。</p>	<p>C賢い日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学制 ・学問のススメ ・学校設立 <p>→教育の必要性を説いた。</p> <p>→男女平等の考えを説いた。</p>			
<table border="1" data-bbox="204 1236 826 1937"> <tr> <td data-bbox="204 1236 826 1937"> <p>学習問題の答え</p> <p>大久保利通は、政府の立場から、日本より進んだ政治・経済などを学びに行き、徴兵制度・地租改正などを取り入れることで外国に負けない強い軍隊を作ったり、仕組みを整えたりして日本を変えていきました。また、福沢諭吉は、民間の立場から、外国の優れた文化を学び、勉学が大事であることを説いたり、塾を開いたりして、多くの後輩を育て、賢い国を目指すことで日本を変えていきました。立場は違うけれど、新しい国にするため、外国に負けない日本に変えていこうと一生懸命頑張っていました。</p> <p>当時の日本は、外国と対等に付き合う国力を早く手に入れる必要があったので、欧米の文化を取り入れて、近代化を進めることができ、日本は大きく変化しました。これから、日本が、外国とどのように付き合っていくのかを調べていきたいと思います。</p> </td> </tr> </table>	<p>学習問題の答え</p> <p>大久保利通は、政府の立場から、日本より進んだ政治・経済などを学びに行き、徴兵制度・地租改正などを取り入れることで外国に負けない強い軍隊を作ったり、仕組みを整えたりして日本を変えていきました。また、福沢諭吉は、民間の立場から、外国の優れた文化を学び、勉学が大事であることを説いたり、塾を開いたりして、多くの後輩を育て、賢い国を目指すことで日本を変えていきました。立場は違うけれど、新しい国にするため、外国に負けない日本に変えていこうと一生懸命頑張っていました。</p> <p>当時の日本は、外国と対等に付き合う国力を早く手に入れる必要があったので、欧米の文化を取り入れて、近代化を進めることができ、日本は大きく変化しました。これから、日本が、外国とどのように付き合っていくのかを調べていきたいと思います。</p>				
<p>学習問題の答え</p> <p>大久保利通は、政府の立場から、日本より進んだ政治・経済などを学びに行き、徴兵制度・地租改正などを取り入れることで外国に負けない強い軍隊を作ったり、仕組みを整えたりして日本を変えていきました。また、福沢諭吉は、民間の立場から、外国の優れた文化を学び、勉学が大事であることを説いたり、塾を開いたりして、多くの後輩を育て、賢い国を目指すことで日本を変えていきました。立場は違うけれど、新しい国にするため、外国に負けない日本に変えていこうと一生懸命頑張っていました。</p> <p>当時の日本は、外国と対等に付き合う国力を早く手に入れる必要があったので、欧米の文化を取り入れて、近代化を進めることができ、日本は大きく変化しました。これから、日本が、外国とどのように付き合っていくのかを調べていきたいと思います。</p>					

3. 本時 3 / 9

4. 本時目標

- 資料から、大久保利通と福沢諭吉が日本を変えた理由について調べる学習問題をつくり、予想を立てることができる。(思考・判断)

5. 本時指導の考え方

目指す子ども像

わたしは、日本を外国に負けないような強い国にするために、日本を変えたのだと思います。なぜなら、幕末の日本は、外国の要求を断れずに不平等な条約を結ばなければならないほど弱かったからです。二人がどんなことをして日本を変えたのか調べたいです。

本時仮説

大久保利通と福沢諭吉について、

- ①なぜ二人が日本を変えたのか疑問をもたせる交流活動
- ②自分の考えを確かめるための「今日の学習で」
を行えば、子どもたちは、「なぜ二人が日本を変えたのか調べてみたい。」と思える学習問題をつくることができ、さらにその答えを予想することができるであろう。

手立て1 なぜ二人が日本を変えたのか疑問をもたせる交流活動

- (1) 大久保利通と福沢諭吉がどんな人物か把握させるための資料提示

事前にアンケートをとった結果、子どもたちは、二人がどんなことをした人物かほとんど知らないことが分かった。そこで、年譜を提示して二人の業績や経歴を知らせることで、子どもたちは、新しい明治という時代において、大久保利通は政治に関わった人で、福沢諭吉は教育に関わった人であることを把握することができる。

- (2) 学習問題を導くための発問

世の中の様子が大きく変化したことに気付かせ、驚きをもたせたあと、「何か二人に聞きたいことはありませんか。」と発問することで、子どもたちは、「なぜこんなに日本を変えたのだらう。」と学習問題へとつながる疑問をもつことができる。

- (3) 二人の業績や経歴に対して自分の考えたことを出し合う交流活動

近くの子どもたちと話し合わせたり、友だちの発表を聞いたりすることで、子どもたちは、世の中の雰囲気が和風から洋風へと変わっている点に目を向けることができる。そうすることで、②での疑問をさらに強く感じ、「調べてみたい。」という意欲をもつことができる。

手立て2 自分の考えを確かめるための「今日の学習で」

前時までの学習内容をまとめた掲示物に目を向けさせ、日本が外国に対して弱い立場にあったことや人々のくらしが苦しかったことに気付かせることで、学習問題の答えの予想やそのように予想した理由を書くことができる。

6. 本時展開

学習の活動と内容	支援
<p>1. 武士の世の中が終わった後、日本はどのような世の中になっていると思うか予想し、発表する。</p> <p>2. 本時のめあてを知る。</p> <div data-bbox="164 394 783 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 明治時代はどんな世の中になったのか調べるための学習問題をつくろう。</p> </div> <p>3. 江戸時代の江戸の様子と明治時代の東京の様子を見比べて、人や町の様子など、変わったところを見つける。</p> <div data-bbox="151 696 783 887" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人の洋服や髪型や靴が変わった。 ・建物がレンガがでできている。 ・ガス灯がでできている。 ・馬車が走っている。  </div> <p>4. 大久保利通と福沢諭吉への質問から交流活動を行い、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 大久保利通と福沢諭吉の人物像について知る。</p> <div data-bbox="151 1088 783 1312" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <ul style="list-style-type: none"> ・「篤姫」で見たよ。 ・一万円札にのっている人だ。 ・大久保利通は政治に関わった人で、福沢諭吉は教育に関わった人だ。 </div> <p>(2) 二人への質問から学習問題をつくる。</p> <div data-bbox="151 1391 632 1536" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>人の服装が和服から洋服に変わっているな。なぜ洋風に変えたのかな？</p>  </div> <div data-bbox="164 1563 775 1704" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題 大久保利通と福沢諭吉は、なぜ日本を変えたのだろう。</p> </div> <p>6. 「今日の学習で」を書き、発表する。</p> <div data-bbox="151 1776 775 2051" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>わたしは、日本を外国に負けないような強い国にするために、日本を変えたのだと思います。なぜなら、幕末の日本は外国の要求を断れず、に不平等な条約を結ばなければならぬほど弱かったからです。二人がどんなことをして日本を変えたのか調べたいです。</p> </div>	<p>○前時の「今日の学習で」を発表させたり、前時までの学習内容をまとめた掲示物を見せたりして、江戸から新しく明治へと時代が移り、日本はどのような世の中になったのか予想させ、本時のめあてへとつなげる。</p> <p>○資料提示：世の中の大きな変化に気付かせ、江戸時代の江戸の様子と明治時代の東京の様子を提示する。</p> <p>黒板に掲示した資料では見つけにくいので、縮小した同じ資料を子どもたちに配布し、ノートに貼らせる。変わったところを見つけたら、その資料に丸をつけさせる。</p> <p>驚きをもたせるために、江戸→東京の順で提示する。</p> <p>○資料提示：二人がどんな人物かを把握させるために、年譜で紹介する。</p> <p>日本を大きく変えた人たちの中に、大久保利通と福沢諭吉という人物がいたことを知らせる。</p> <p>年譜を提示して二人の業績や経歴について知らせ人物像をつかませる。</p> <p>○発問：学習問題をつくるために、発問を行う。</p> <div data-bbox="810 1245 1445 1391" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>何か二人に聞きたいことはありますか？</p>  </div> <p>○交流活動：質問を考えて発表したり、友だちの発表を聞いたりして学習問題をつくる。</p> <p>人の服装や建物など、雰囲気が全体的に洋風に変わっている点に目を向けさせることで、学習問題へとつなげる。</p> <p>○「今日の学習で」：「今日の学習で」の書く視点を与える。</p> <p>①学習問題の答えの予想②そう考えた理由③これから調べたいことを書くために、具体的な視点を助言する。</p>

4. 本時目標

- 学習問題について考えた強い日本・裕福な日本・賢い日本の視点を全体で交流し、学習問題の答えをつくり、我が国が近代化を進めたことについても考えることができる。(思考・判断)

5. 本時指導の考え方

目指す子ども像

大久保利通は、政府の立場から、日本より進んだ政治・経済などを学びに行き、徴兵制度・地租改正などを取り入れることで外国に負けない強い軍隊を作ったり、仕組みを整えたりして日本を変えていきました。また、福沢諭吉は、民間の立場から、外国の優れた文化を学び、勉学が大事であることを説いたり、塾を開いたりして、多くの後輩を育て、賢い国を目指すことで日本を変えていきました。立場は違うけれど、新しい国にするため、外国に負けない日本に変えていこうと一生懸命頑張っていました。

当時の日本は、外国と対等に付き合う国力を早く手に入れる必要があったので、欧米の文化を取り入れて、近代化を進めることができ、日本は大きく変化しました。これから、日本が、外国とどのように付き合っていくのかを調べていきたいと思います。

本時仮説

大久保利通と福沢諭吉が、なぜ、日本を変えたのかについて、

- ①子どもの考えをゆさぶり、学習問題の答えをより深めることができる資料提示と発問
- ②近代化を進めたことについて考える交流活動
- ③自分の考えを確かめるための「今日の学習で」
を行えば、社会的な見方・考え方を含んだ学習問題の答えをつくることができ、近代化を進めたよさについても考えることができるであろう。

手立て1 子どもの考えをゆさぶり、学習問題の答えをより深めることができる資料提示と発問

- (1) 視点ごとの発表から学習問題の答えを検討する全体交流

強い日本・裕福な日本・賢い日本の視点ごとに発表する中で、同じ視点で付加修正したり、違う視点で質問し合ったりする。それぞれの視点の発表後、学習問題の答えを全体で交流する。どの視点が学習問題の答えになり得るのかということ念頭において話し合うことで、自分の考えを主張しやすくなり、交流も活発になると考える。そして、3つの視点を統合して、学習問題の答えを導き出す。

- (2) 子どもの考えを揺さぶり、学習問題の答えをより深める資料提示と発問

借金を抱えながらも、国のために全力を尽くした大久保と、多くの後輩を自己資金で育て、たくさんの人が葬儀に参列したという事実を提示し、「二人の生き方からどんなことが考えられますか。」と問う。自分の身を削ってまで、外国に負けない国づくりに賭けた二人の生き方から、子どもの考えを揺さぶることができると思う。そこから、学習問題の答えへとつなげていく。

手立て2 近代化を進めたことについて考える交流活動

- (1) 近代化を進めたことについて考える発問からの交流活動

「日本が、近代化を進めたことは、よかったのかな。」という近代化を進めたことは是か非かを問う発問を行う。この発問について考えることで、この時代と今の時代とをつなげて考えることができると考える。プラス面マイナス面を考えることで、また、是か非かの考えを対立するような交流をすることで、日本が、欧米の文化を取り入れながら、近代化を進めたという事実を理解できると考える。

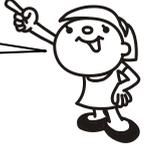
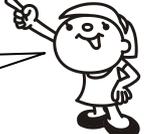
- (2) 文明開化が分かる複数の資料の提示

明治初期に変化したものとして、牛なべ・新聞・郵便制度・暦などを提示する。この提示で、人々の生活の様子が見て取れ、私たちの生活の中に、影響しているものを改めて実感することができる。さらに、近代化を進めたことに目を向けることができると考えられる。

手立て3 自分の考えを確かめるための「今日の学習で」

学習問題の答えを中心に、本小単元の感想も含めて書く。板書を参考にしながら、まとめて書き表すことで、自分の考えを確かめることができると考える。

6. 本時展開

学習の活動と内容	支援
<p>1. 本時のめあてを知る。</p> <div data-bbox="151 264 774 392" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 大久保利通と福沢諭吉が目指した国づくりについて話し合い、学習問題の答えをつくろう。</p> </div> <p>2. 調べたことをもとに、全体で交流する。</p> <p>(1) 強い日本・裕福な日本・賢い日本の視点ごとに、学習問題についての考えを発表する。</p> <div data-bbox="151 504 774 616" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <ul style="list-style-type: none"> ・外国に負けない軍隊 ・生活様式の変化 ・教育の必要性 など </div> <p>(2) 全体で交流し、学習問題の答えを考える。</p> <div data-bbox="151 660 774 795" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・強い国を目指したはず! ・勉強して、賢い日本になった! ・生活が安定して豊かになった!  </div> <p>(3) 二人のその後の生き方から、国づくりに賭けた考えを想像する。</p> <div data-bbox="151 884 774 1041" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <ul style="list-style-type: none"> ・借金をしてまで・・・ ・自分の金を使ってまで・・・ ・日本を想っていたんだな。 ・目指す国があったんだな。 </div> <p>3. 我が国が近代化を進めたことについて話し合う。</p> <p>(1) 近代化を進めたことがよかったのかについて根拠を明確にした考えをもつ。</p> <p>(2) 資料から、近代化のよさについて考える。</p> <div data-bbox="151 1198 774 1355" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と直結しているものがたくさんあるよ。 ・様々なものが取り入れられたからこそ、今の生活があるね。  </div> <p>4. 「今日の学習で」を書き、発表する。</p> <div data-bbox="151 1388 774 2049" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大久保利通は、政府の立場から、日本より進んだ政治・経済などを学びに行き、徴兵制度・地租改正などを取り入れることで外国に負けない強い軍隊を作ったり、仕組みを整えたりして日本を変えていきました。また、福沢諭吉は、民間の立場から、外国の優れた文化を学び、勉学が大事であることを説いたり、塾を開いたりして、多くの後輩を育て、賢い国を目指すことで日本を変えていきました。立場は違うけれど、新しい国にするため、外国に負けない日本に変えていこうと一生懸命頑張っていました。</p> <p>当時の日本は、外国と対等に付き合う国力を早く手に入れる必要があったので、欧米の文化を取り入れて、近代化を進めることができ、日本は大きく変化しました。これから、日本が、外国とどのように付き合っていくのかを調べていきたいと思います。</p> </div>	<p>○大久保利通・福沢諭吉を通して調べたことから、それぞれの視点についてまとめたノートや資料を把握し、補助簿を作成しておく。</p> <p>○視点ごとに考えを発表する際に、補助簿を活用し、意図的指名ができるようにする。</p> <p>○子どもたちが、同じ視点で付加修正したり、違う視点に質問したりできるように、事前に誰がどの考え方が把握できるようにしておく。</p> <p>○資料提示：大久保利通と福沢諭吉の死後のことが分かる資料を提示する。 子どもたちが驚きをもつように、福沢諭吉→大久保利通の順で提示する。</p> <p>○発問：二人の生き方から学習問題の答えにつなげる。</p> <div data-bbox="798 884 1436 1041" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>二人の生き方から、どんなことが考えられますか?</p>  </div> <p>○発問：「近代化」が是か非かを問うような発問を行う。</p> <div data-bbox="798 1120 1436 1265" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>この当時の日本が、欧米の考え方を取り入れて、近代化を進めたことはよかったのかな?</p>  </div> <p>○交流活動：「YES」「NO」に分かれて、話し合い活動を行う。 立場をはっきりさせ、根拠を明確にしながら発言できるようにする。</p> <p>○資料提示：文明開化が分かる複数の資料として具体物を中心に提示する。 子どもたちの生活に身近なものから提示し、近代化が進んだことのよさが見えるようにする。</p> <p>○「今日の学習で」：「今日の学習で」の書く視点を与える。 ①学習問題の答え、②本小単元を通しての感想を書くために、板書を参考にするよう助言する。</p>

7. 板書計画

(3/9)

世界への扉を開いた新しい国づくり

めあて

明治時代はどんな世の中になったのか調べるための学習問題をつくろう。

江戸時代の江戸の様子絵

明治時代の東京の様子絵

大久保利通
の肖像画

福沢 諭吉の
肖像画

大久保利通			福沢 諭吉		
年	年齢	できごと	年	年齢	できごと
1830	0	直江郡で生まれる	1835	0	大分県で生まれる
1869	39	明治政府の設立に活躍し、政府の重要な職に就く	1858	23	東京に、書物販売の店となる雑字屋を開く
1871	41	通商使節の一員として、アメリカ・ヨーロッパに渡る	1860	25	通米使節の一員として、アメリカに渡る
1873	43	明治政府の責任者の一人として、殖産興業・地租改正・徴兵令などの政策を実施する	1861	26	通商使節の一員として、ヨーロッパに渡る
1878	48	東京で暗殺される	1866	31	『西洋事情』を出版する
			1867	32	幕府の専断受取委員の一員として、アメリカに渡る 明治政府から出仕を求められるが、辞退する
			1868	33	塾を、書物販売と改称する
			1872	37	『学問のすすめ』を出版する
			1901	66	東京で亡くなる

二人に聞きたいことは？

- ・なぜ和服を洋服に変えたのですか？
- ・なぜ建物をレンガづくりに変えたのですか？
- ・なぜガス灯や馬車をつくったのですか？

- ・人の洋服や髪型や靴が変わった。
- ・建物がレンガでできている。
- ・ガス灯ができています。
- ・馬車が走っている。

学習問題

大久保利通と福沢諭吉は、なぜ、日本を変えたのだろうか。

- 今日の学習で：①学習問題の答えの予想とその理由
②これから調べたいこと

(9/9)

世界への扉を開いた新しい国づくり

めあて 調べたことをもとに交流し、学習問題の答えをつくろう。

学習問題 大久保利通と福沢諭吉は、なぜ、日本を変えたのだろうか。

強い国にするため

徴兵制度→国民皆兵で強い軍隊、負けない国
地租改正→政府の収入が一定に
版籍奉還・廃藩置県→中央集権の確立

裕福な国にするため

地租改正→政府の収入が一定に
殖産興業→富岡製糸工場・産業を盛んに
四民平等（男女平等）・新しい文化の導入

賢い国にするため

学制・就学人口増→全ての子どもに教育を
学問のススメ→人はみな平等という考え方
学校設立・後輩への投資

大久保利通
の肖像画

福沢 諭吉
の肖像画

死後の借金
6000万

外国に負けない日本を目指した新しい国づくり
近代化へ

学校へ寄付
後輩育成

欧米の文化を取り入れて、近代化を進めたのはよかったのか？

YES

- ・文明開化により、暮らしが変わった
- ・国の仕組みが整えられた。
- ・国民の教育が必要だった。

NO

- ・日本らしさがなくなったかも？
- ・国民全てが豊かになったの？
- ・欧米文化を取り入れるしかなかった

今日の学習で：学習問題の答えを書く。
単元を通じた感想を書く。